

**迎古夢旅** 4574 : **アンダルシア・ひまわりの丘** P113



アンダルシア地方、灼熱の中、ベストポイントを探しつづけた。  
この旅の初めから、駐車違反など、どんな状況か、都会と、地方では違う。いろいろ観察。

状況判断、時には、駐車場を訪ねて、自由な身になる。

**盗難も要注意。**これも、待ったなし、言い訳なし、後悔なし、が鉄則。

細心の注意と、考動のシュミレーションを頭に、それにしては、大胆な行動をしている。

臆病は勇気、という言葉もある。何しろ、未知への地の、ひとり旅。

眼前のひまわり畑、目に止まると、見過ごし、通り過ぎる訳にはいかない。

日陰もない。あの木の下には、木陰があるのだろうか。

アクセスが可能なら行ってみたい。立ち入り禁止の場所では駄目だが、そうでなければ・・・

道を探した。正面の木が大きく見えた。道が消えた。

妥協するしかない。何でもない光景だが、ともかく、画像記録をしておこう。

アンダルシア地方の、ひまわりは、素晴らしいと思う。

構図はじめ、私には、こだわりがある。1本の木の存在、

あと後で見ると、除外するのはかわいそうに思えた。急遽、参加させてもらうことになった次第。

勝手ながら、ひまわり畑の向こうは、地中海。空の色、海の色とのコントラスト。

イメージを育んだが叶わず。この一本の木、見れば見るほど存在感。

その時は、そう思った。熱中症を気にしていたら、画像記録が、残らなかったかも。

ただし、ひとり旅の途上である。飲み物など、リスク管理はしている。

好きだからできること。スキ、ヤルキ、コンキ、ゲンキ。

ここは、7月、灼熱のアンダルシア地方 ②

